

研究機関名：旭川医科大学

作成年月日：2024年2月26日（第1版）

承認番号	23194
課題名	緊急帝王切開における母乳育児への影響について
研究期間	西暦 2024年 5月 14日（実施許可日） ～ 2024年 12月 31日
研究の対象	対象：2020年1月～2023年12月までの間に当院で緊急帝王切開にて出産し、入院期間中母子同室を行っていた方
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：年齢、初経産、既往歴、分娩までの経過、緊急帝王切開理由、緊急レベル、入院中・退院後・1ヶ月健診時の児の栄養方法） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
利用予定日	実施許可日より1か月後
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	<p>旭川医科大学病院周産母子センターは、ユニセフとWHOが作成した「母乳育児成功のための10か条／母乳育児がうまくいくための10のステップ」に沿って母乳育児支援を行っており「赤ちゃんにやさしい病院」に認定されています。</p> <p>近年、全国における分娩のうち、帝王切開の割合は増加傾向となっており、当院での分娩についても半数が帝王切開となっています。そのうち、緊急帝王切開の割合は半数以上を占めており、緊急帝王切開となった母子への支援が重要と考えられます。</p> <p>本研究では、緊急帝王切開における母乳育児への影響と今後の課題について明らかにすることを目的としています。</p>
研究の方法	電子カルテから患者さんの基本情報（年齢、初経産、既往歴）、医師の診察記録より分娩までの経過・緊急帝王切開理由・緊急レベルについて、看護師の記録から授乳状況について情報収集を行います。
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p>

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

旭川医科大学病院 4階東病棟 助産師 松原純菜

0166-69-3740

研究責任者：

旭川医科大学病院 4階東病棟 助産師 松原純菜

0166-69-3740